Genki Global
Dining Concepts

2027年3月期

第２四半期
決算説明会資料

株式会社Genki Global Dining Concepts

証券コード：9828

2026年11月11日

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

本日の決算説明会　ポイント

Genki Global Dining Concepts

業績ハイライト	・出店増や子会社株式の取得で**売上高は伸長** ・子会社取得関連費用や新店準備コストで**段階利益は減少** ・国内事業は、お手頃価格メニューの強化で**順調推移**
成長戦略	・テイクアウト型の**QSR業態**で、**海外店舗網を拡大** ・養殖と米づくりで、主要食材の**安定調達を強化**

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

本日の内容

01　上期決算概要

連結業績、セグメント別業績、貸借対照表

02　セグメント別概要

国内事業、グローバル事業、調達力強化、サステナビリティ

03　通期見通し・株主還元

今期業績予想、株主還元方針

04　参考資料

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

01

上期決算概要

2026年4月1日～9月30日

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

2027年3月期 第２四半期 エグゼクティブ・サマリー

Genki Global Dining Concepts

中間期は過去最高の売上高を達成。一方、子会社の取得関連費用が利益を圧迫し、減益

総販売額※
902 （億円）
前年同期比　133.1%

売上高
500 （億円）
前年同期比　142.2%

営業利益
29 （億円）
前年同期比　94.0%

中間純利益
15 （億円）
前年同期比　74.3%

国内既存店売上
108.4 %
売上高前年差　25.3億円増

国内客数
2,553 万人
前年同期比　234万人増

店舗数
644 店舗
国内 200店 海外 444店

EPS
88.57 （円）
前年同期比　74.3%

※総販売額：（売上高－ロイヤリティ収入－FC向け食材販売売上）＋海外店舗の売上高

◆国内事業は、客単価が前年並みを維持し、客数が前年を上回ったことで増収となり、利益に寄与。

◆グローバル事業は、子会社の取得関連費用や、新店の開店前コストが影響し減益。

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

業績ハイライト（連結・２Q累計）

Genki Global Dining Concepts

売上高は、新規子会社の売上が計上されたことに加え、国内事業が堅調に推移し、増加
営業利益は、一過性の子会社取得関連費用発生のほか、のれん償却費等の負担増加により減少

単位：百万円	2026年3月期 第２四半期 実績	2026年3月期 第２四半期 売上比	2027年3月期 第２四半期 実績	2027年3月期 第２四半期 売上比	前年同期GAP 金額GAP	前年同期GAP 比率GAP
売上高	35,205		50,059		+14,854	
売上原価	14,707	41.8%	24,611	49.2%	+9,904	+7.4pt
売上総利益	20,497	58.2%	25,447	50.8%	+4,950	▲7.4pt
営業利益	3,108	8.8%	2,921	5.8%	▲187	▲3.0pt
中間純利益	2,106	6.0%	1,564	3.1%	▲542	▲2.9pt
EBITDA	4,052	11.5%	4,525	9.0%	+473	▲2.5pt
店舗数	433		644		+211	
（国内店舗数）	191		200		+9	
（海外店舗数）	242		444		+202	

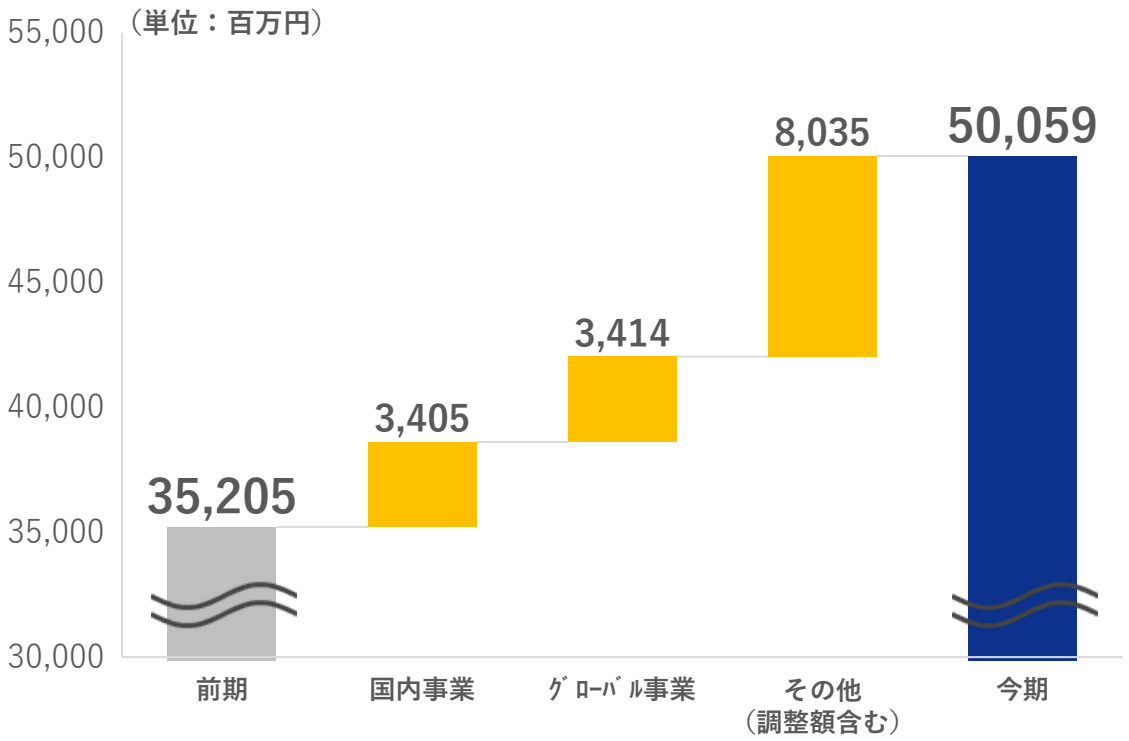
Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

セグメント実績（２Q累計・前年同期比）

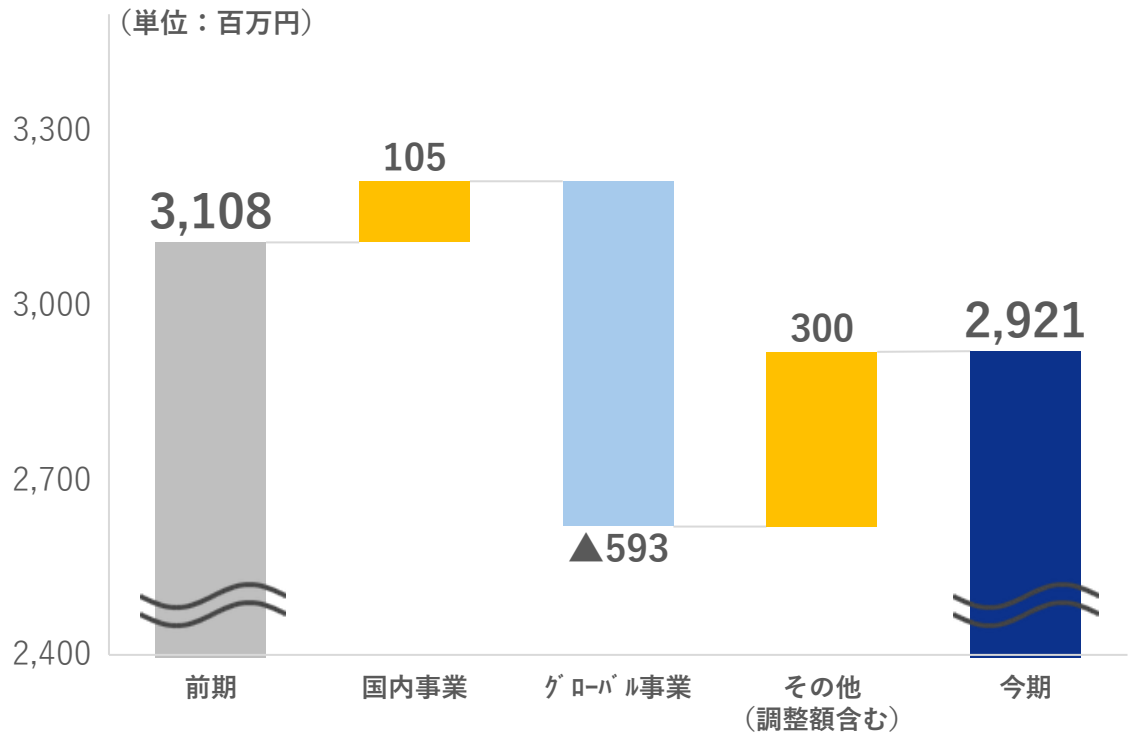
Genki Global Dining Concepts

売上高は、国内事業において**お値打ち感ある魅力的なメニュー構成**により客数が増加している中、
さらに、**国内７店舗の新規出店も寄与**し、増加
営業利益は、グローバル事業において**一過性コスト等が発生**し減少
その他は、**ゴダック・神戸まるかんのグループ化**により売上高・営業利益共に増加

売上高



営業利益



Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

セグメント実績（２Q累計）

Genki Global Dining Concepts

（単位：百万円）	2026年３月期 第２四半期	2027年３月期 第２四半期	前年同期比	増減率
総販売額※	67,757	90,211	+22,454	+33.1%
国内事業	30,828	34,233	+3,405	+11.0%
グローバル事業	36,929	47,942	+11,013	+29.8%
その他	—	8,035	+8,035	—
連結売上高	35,205	50,059	+14,854	+42.2%
国内事業	30,828	34,233	+3,405	+11.0%
グローバル事業	4,377	7,791	+3,414	+78.0%
その他（調整額含む）	—	8,035	+8,035	—
連結営業利益	3,108	2,921	▲187	▲6.0%
国内事業	2,277	2,382	+105	+4.6%
グローバル事業	916	323	▲593	▲64.7%
その他（調整額含む）	▲85	215	+300	—

※総販売額：（売上高－ロイヤリティ収入－FC向け食材販売売上）＋海外店舗の売上高

※その他（調整額含む）は全社費用等を含む。百万円未満切捨てにより内訳と合計に端数差があります。

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

貸借対照表

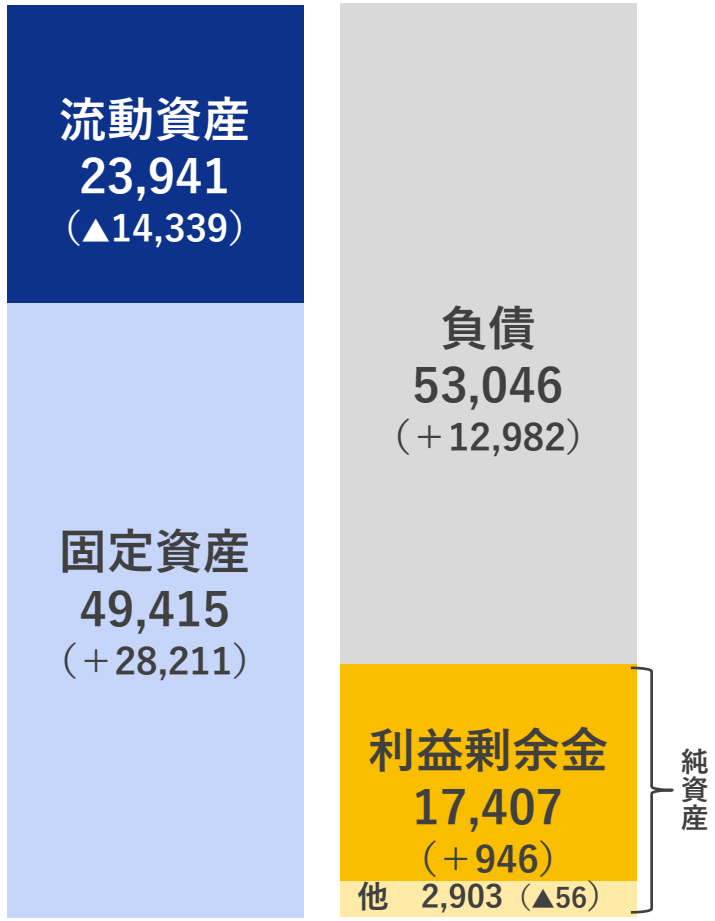
Genki Global Dining Concepts

現預金は、Food Odyssey社の子会社化に向けた対価の支払い実行により減少
固定資産、負債は、Food Odyssey社の子会社化に伴い増加
自己資本比率は27.7%（前期末32.6%）

（単位：百万円）	2026年３月期 前期末	2027年３月期 第２四半期	増減
流動資産合計	38,280	23,941	▲14,339
現金及び預金	28,492	10,047	▲18,444
その他流動資産	9,788	13,894	+4,106
固定資産合計	21,204	49,415	+28,211
資産合計	59,484	73,356	+13,872
負債合計	40,063	53,046	+12,982
借入金合計	25,288	25,152	▲136
その他負債	14,775	27,894	+13,119
純資産合計	19,420	20,310	+889
負債純資産合計	59,484	73,356	+13,872

※借入金は短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・長期借入金の合計（リース債務を除く）。

（単位：百万円）



Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

02

セグメント別概要

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

国内既存店客数－お値打ち価格メニューの強化

Genki Global
Dining Concepts



Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

国内既存店客数－前年比推移

Genki Global Dining Concepts

今期２Q時点では、客単価は前年水準を維持しながら、既存店客数が前年比107.6%と好調
お値打ち価格メニューの強化と100円デザートの導入、IPコラボ・商品フェアで新規顧客も獲得

既存店客数_前年比推移（魚べい業態・元気寿司業態）



2026年3月期	2027年3月期
前期の上期は客数が伸び悩み、9月には前年比91.8%まで低下。平日の客席稼働率向上を目的として、11月より90円のうどん・ラーメンを導入し、下期以降の客数は回復基調	100円メニューの充実による集客力強化と、商品ごとの価格適正化による収益性の確保を両立。上期6か月すべてで客数が前年を上回り、9月も前年比108.3%

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

国内出店の状況

Genki Global Dining Concepts

「魚べい」「千両」は４店舗出店、建築費が高騰も出店基準は緩めず物件を厳選するため、出店数は計画を下回る見通し
「うま勝」は２店舗出店、収益モデルの検証と低コスト運営の確立を優先

魚べい / 千両

出店方針
年間15店舗の新規出店を推進

２Q時点
出店 **4** 店舗

売上高は平均を上回り好調、高い収益性を維持

・今期は、ドミナント強化を狙い出店
・来期は、未出店エリアを中心に店舗開発
・新規出店店舗には「魚っぴ～」導入



魚べい 草加新田店 8/29 OPEN



エンタメパネル、「魚っぴ～」

大阪焼肉 うま勝

出店方針
栃木県を軸に東日本で展開

２Q時点
出店 **2** 店舗

売上高は概ね計画通りに推移、早期投資回収モデルの確立を推進

・上期は、栃木県内にドミナント出店
・来期は、未出店エリアを中心に店舗開発
・低投資、低原価、低人件費モデルを目指す



うま勝 那須塩原店 6/29 OPEN



うま勝 ゆいの杜店 8/28 OPEN

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

Food Odyssey – 「Sushi Sushi」がグループに

Genki Global Dining Concepts

オセアニア及び中東で186店舗を展開する、寿司テイクアウトチェーン
日本品質の追求とグループシナジーの発揮で、成長を加速させる



Sushi Sushi 店舗


商品

Food Odysseyの店舗数

186 店舗

豪州181／NZ1／サウジアラビア4

海外店舗数（3月末→9月末）

254 → 444 店舗

2026年、海外店舗網は約1.7倍に

グループ入りの狙い — 戦略の方向性

01 日本品質の追求

日本の食材・メニュー・運営ノウハウで「日本の会社の寿司」として品質と信頼を高める

主な取り組み

- 日本のメニュー
- 日本の品質基準

02 グループシナジーの発揮

Genkiの調達網と商品開発力を生かし、コストを抑えながら商品力を高める

主な取り組み

- 日本から直輸入
- 調達の共通化

目指す姿

既存店の売上拡大と、収益力の向上

海外FC展開も各国と協議中

Sushi Sushi の特徴

ブランドの約束

“Real Food. Ready to Go.”

新鮮で質の高い食事を手軽に持ち帰れる

商品

ハンドロール・パック寿司

オードブルやおにぎりも展開

買い方・顧客接点

店頭テイクアウト中心

会員アプリ「Koi Club」で来店促進

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

Food Odyssey － 日本品質とシナジーで収益力を強化

Genki Global Dining Concepts

グループ入りを機に、日本のメニュー・調達網・店舗運営を持ち込み 商品力とコスト競争力を高める

戦略の方向性　日本品質の追求 × グループシナジーの発揮 → 以下、3つの取り組みで実行

1 商品 ｜ 日本のメニューを導入



寿司（現行商品）

×



あたたかい麺類



デザート

寿司と組み合わせたセットで販売を強化

- あたたかい麺類やスープと寿司を組み合わせたセットを展開
- 日本産アイスなどデザートも拡充（2027年1月から順次導入予定）

2 調達 ｜ 日本から効率よく調達

日本（Genkiグループ） → 仕入 → 豪州（Sushi Sushi）

数量を合算して調達／仕様・資材を共通化

コストを抑え、値ごろ感と満足度を高める

- Genkiと数量を合算し、日本から食材を直輸入
- 抑えたコストを価格と品質に生かし、顧客満足を高める

3 運営 ｜ ノウハウの相互共有

Genki（責任者を派遣） → 運営委員会（FO・Genki） → 直営店（水平展開）

運営委員会を通じて、ノウハウを相互に活用

Genkiのノウハウで店舗運営を磨く

- 店舗運営に係る品質管理や衛生管理、接客等のノウハウを相互に共有
- FO・Genki合同の運営委員会で、課題等を整理

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

グローバル事業－今後の出店戦略

Genki Global Dining Concepts

海外444店舗。直営、FC共にQSR業態の展開に挑み、2029年3月末に550店舗以上へ。

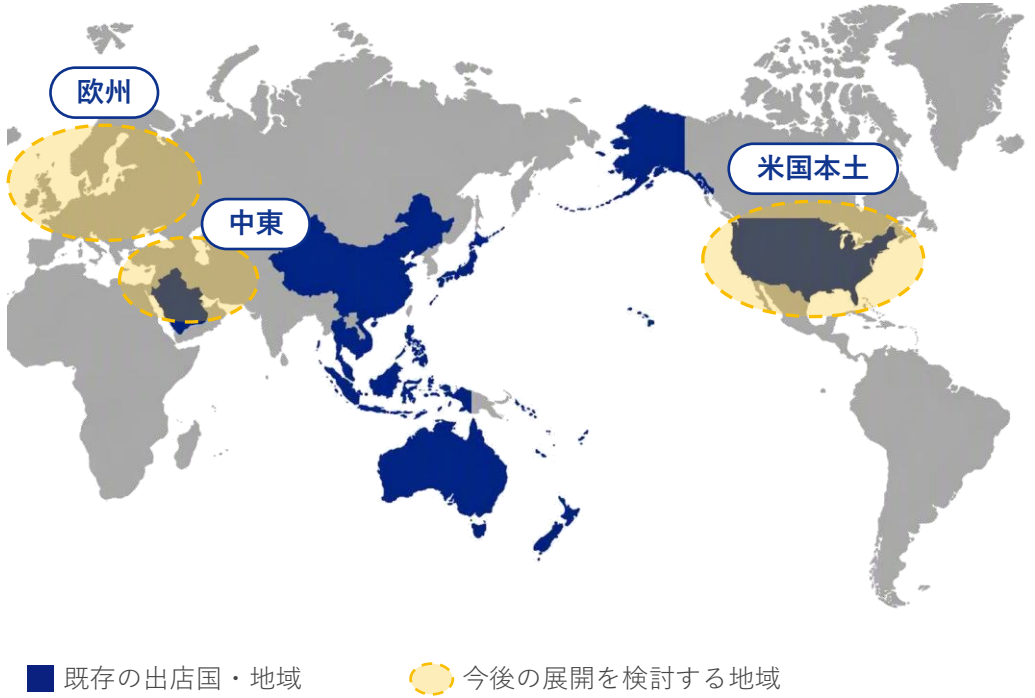
海外店舗数
2026年9月末
444店

→

2029年3月末目標
550店以上

アジア	オセアニア	米国	中東
244店	182店	13店	5店
香港・中国など9か国・地域	豪州181・NZ1	ハワイ11・本土2	サウジ4・クウェート1

出店エリアと今後の展開



地域別の出店方針

アジア（日本除く）

GENKI SUSHI
千両

回転寿司の店舗網を広げる

244店（香港102・中国56など、すべてFC）

- 現地FCとの連携を深め、追加出店を進める
- QSR業態（テイクアウト）の導入に向け準備を推進

米国

GENKI SUSHI
GENKI 元気ダイナー DINER HANDROLL + SUSHI
UOBEI
sushi sushi

新業態で米国本土へ

13店（ハワイ11・本土2）

- 新業態「Genki Diner」でハワイから本土へ展開
- QSR業態（テイクアウト）の展開

豪州・新市場

sushi sushi

Sushi Sushiで新しい国へ

186店（豪州181・NZ1・サウジアラビア4）

- 豪州:東部中心の店舗網に加え、西部で出店を強化
- 新市場：欧州など8か国とFC展開を協議中

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

グローバル事業－出店予定

Genki Global Dining Concepts

「GENKI DINER」は、11月にハワイ・ワイキキで新業態をオープン予定
「UOBEI」は、12月1日よりテイクアウト店としてLA 9th St店で運営開始予定

GENKI 元気ダイナー DINER HANDROLL + SUSHI

出店方針
ハワイを皮切りに米国本土へ展開

Beachwalk店
11月下旬

ハワイ・ワイキキに新業態をオープン

ブランドコンセプト
素材とライブ感にこだわったハンドロールで、
若年層の新たなライフスタイルを捉える新業態



店舗外観イメージ


アヒポケ手巻き

UOBEI

出店方針
LAエリアでドミナント展開

LA 9th St店
12月1日

Los Angels 9th stで運営開始予定

ブランドコンセプト
いつでも気軽に本格的な寿司や丼物を楽しめる、
ローカルのライフスタイルに密着した食をスピーディに届ける拠点



UOBEI 店舗外観


Premier Nigiri Set
$20.99


Citrus Pepper Salmon
$15.49


Rainbow Roll
$16.49


Dragon Roll
$16.49

Grab & Go Menu（抜粋）

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

調達力強化の進捗

Genki Global Dining Concepts

真鯛・ハマチ・サーモン・いくらの養殖を推進し、安定調達と商品価値向上を目指す

生産体制の整備から国内店舗への供給拡大、将来の海外展開へ

川上：生産（養殖）	現在の進捗状況	将来の計画
 真鯛 海面養殖	**2026年5月から店舗向け本格供給** 生け簀71基／年間約600tの養殖規模 AI給餌機を全71基に導入	**AI給餌の対象生け簀を拡大** 品質の均一化・飼料コスト低減を推進 将来的に他魚種への養殖DX展開も検討
 ハマチ 海面養殖	**2025年12月に養殖協業を開始** 生け簀45基／年間約900tの生産計画 「直島寒ぶり」の限定販売を公表	**2026年冬頃から本格出荷予定** 国内グループ店舗への安定供給を推進 生産規模・品質のさらなる向上を図る
 サーモン 陸上養殖	**陸上養殖の水槽を55基まで増設** 2026年10月、既存養殖分を先行販売 協業養殖分は本格出荷に向け育成中	**2027年春頃に協業養殖分を出荷予定** 7年間で1,000槽規模への拡大を協議 国産サーモンを国内外の店舗へ展開
 いくら 陸上養殖	**2025年10月に陸上養殖で協業開始** サーモンと同じ生産基盤を活用 安定した生産体制を構築中	**年間40～60tの生産体制を目標** 輸入品から国産原料への転換を推進 国内全店舗・将来の海外展開を目指す

出典：当社PR（2025年11・12月／2026年6・9月）、2026年3月期決算説明会資料　※生産量・出荷時期・規模拡大は計画値・協議事項を含みます。
※サーモンの2026年10月先行販売は「ひらやま」の既存養殖分。協業養殖分の出荷実績とは異なります。

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

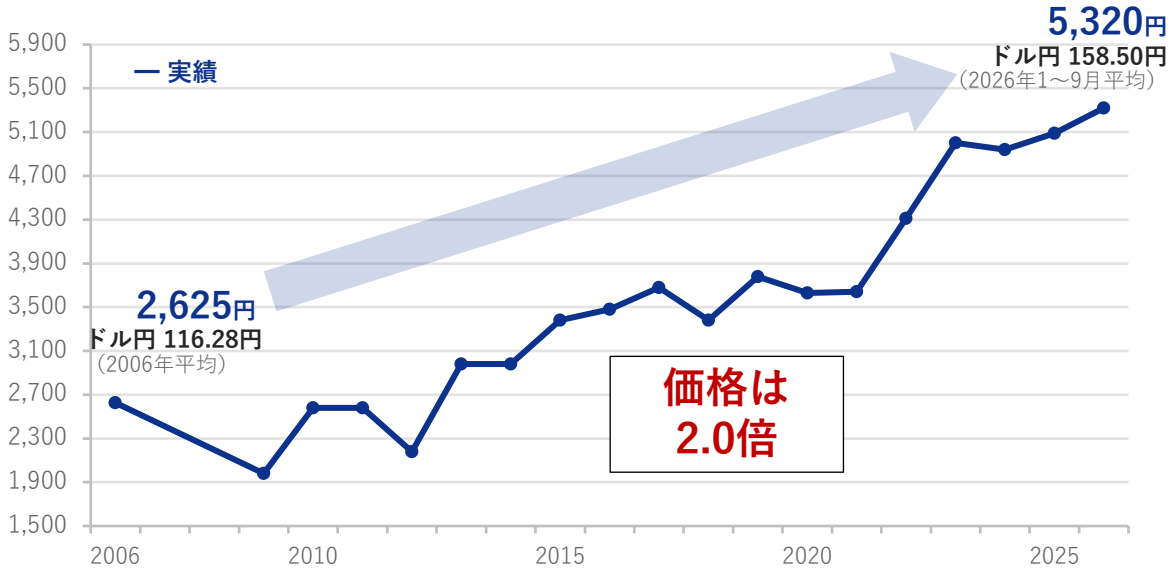
サーモン・いくらの状況

Genki Global Dining Concepts

サーモンは高止まり、いくらは原料不足。自前の養殖供給なしではネタを確保できなくなる

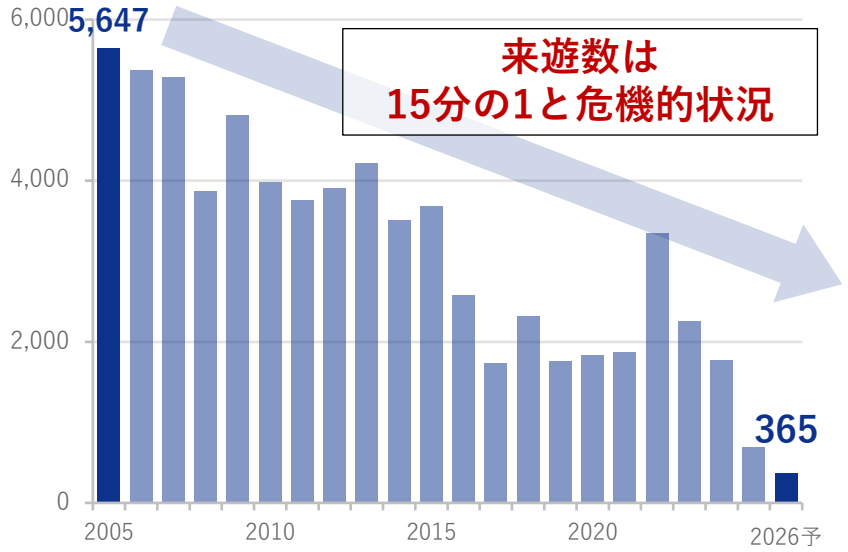
サーモン　20年で約2.0倍、今後も高止まり

輸入養殖サーモン（刺身用）の小売価格（円/kg）



いくら　原料の秋サケは20年で約15分の1に

北海道の秋サケ来遊数（万尾）



いくらの小売価格
（全国中央値、円/kg）

2016年9月
11,280 円

2025年9月
19,370 円

2026年9月
23,130 円

10年で約2.1倍

■ サーモン・いくらが今後も高止まりする4つの理由

需要：中国と取り合う

中国の輸入 +39%

大西洋サーモン(26年1～6月、前年比)
日本と同じ魚を取り合う

供給：世界で増えない

伸び率 0～2%

2026年後半はゼロ成長
2027年も0～2%にとどまる見通し

為替：円安で割高に

1ドル 116円→159円

2006年→2026年（1～9月平均）
同じ1ドルの魚に約1.4倍の円が必要

温暖化：サケが育たない

秋サケ漁獲 ▲34%

道内・26年9月末の前年同期比温暖化
などの水温上昇で稚魚の餌が減少

出典：サーモン価格＝総務省「小売物価統計調査」、コストコ同一商品の公開価格記録／為替＝日本銀行／秋サケ来遊数＝水産研究・教育機構、北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場／いくら価格＝総務省「小売物価統計調査」（ねだん白書集計）／供給＝Mowi 2026年第2四半期決算（Kontali推計）／需要＝中国税関統計（Undercurrent News集計）／温暖化・秋サケ漁獲＝北海道立総合研究機構 さけます・内水面水産試験場（共同通信 2026年10月6日）
注記：サーモン価格は2006～19年がコストコ同一商品（ノルウェー産養殖アトランティック・刺身用）の年内1時点の店頭価格（2007・08年は記録なし）、2020年以降は総務省「小売物価統計調査」のトラウト／アトランティックサーモン刺身用の全国平均（2026年は1～9月平均）で、両者は定義が異なる。為替は日本銀行 東京市場17時月中平均の平均値。2026年の来遊数は予測値

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

サーモン・いくら養殖の進捗（ひらやまとの協業）

Genki Global Dining Concepts

協業開始から1年。震災を乗り越えて「桃太郎サーモン」を先行販売し、2027年春頃の本格出荷へ

2025年９月



陸上養殖の水槽

サーモン陸上養殖で協業

- ひらやま（八代市）に飼育～出荷を委託
- 天然地下水で育成

2025年10月



放流の様子

いくらも協業開始
1回目の放流式

- 国産いくらを陸上養殖
- まず36槽から開始
- 年産40～60tを目指す

2026年５月



陸上養殖の水槽

放流式2回目
（当社育成の稚魚を初放流）

- 当社育成の稚魚を放流
- 稚魚は買取り、共同育成

2026年10月



桃太郎サーモンの刺身

熊本地震後、
復興支援の先行販売

- 7/28 震度6強の地震も養殖は維持
- 10/3・4、上野店で先行販売
- 売上全額を寄附

2026年12月（予定）



陸上養殖の水槽

水槽増設＋73基、
合計128基となる予定

- 55基に73基を増設
- ハウス型で生産能力拡大
- 7年後は1,000基に

これから				
	2027年春頃 **協業養殖分の本格出荷** 一部店舗での提供開始を予定	水槽 **36基 → 55基（現在）** 7年で1,000基規模へ	2032年の生産量 **サーモン 年間1,000t** いくら 年間40～60t	2032年の出荷 **国内外のグループ全店舗** での提供を目指す

注記：「桃太郎サーモン」は株式会社山平の登録商標です。

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

清原Genkiファームの初年度収穫

Genki Global Dining Concepts

清原Genkiファーム初のお米の稲刈りを9月に開始。約150tを東日本の魚べい・元気寿司へ供給する計画

農家と共に持続可能な事業運営

適正価格での取引で、生産者が持続的に営農できる体制
米の安定調達と価格変動リスクの低減により、当社の経営も安定


稲刈り・脱穀


籾の積み込み


乾燥・調製施設


乾燥機（3台）


籾摺り機（新品）


米選別機（新品）


色選機（新品）

品質へのこだわり

鬼怒川の清流を利用した清原地区の水田で栽培
収穫後、籾摺り機・米選機・色選機で選別し出荷



店内POP

約150t GGDC向け出荷開始
にじのきらめき・とちぎの星
東日本の店舗で使用

収穫から店舗供給まで

9月5日	稲刈りを開始（10月中旬まで実施）
9月下旬～	埼玉の神明本庄倉庫へ順次トラック輸送
11～12月	東日本の魚べい・元気寿司で使用開始

中期目標（年間）
約500t
栃木県内の魚べい・元気寿司店舗をまかなう生産規模を目指す

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

サステナビリティへの取り組み

Genki Global Dining Concepts

店舗の電力・養殖・地域貢献の3分野で、持続可能な事業運営を推進

01 自家発電システム導入

魚べい3店舗に導入し、購入電力量・CO_2削減を検証

- 設置：鶴田店10/16・上尾平塚店10/29・郡山島店11月中旬予定
- 環境負荷低減、停電時の電力確保のほか、地域支援も検討
- 11月に試験運転、12月頃から許可取得後に順次本格運用


魚べい鶴田店に設置したコンテナ

02 陸上サーモン養殖

国内陸上養殖で、環境負荷の小さい国産サーモンを供給

- 海外からの輸送が不要になり、輸送時のCO_2排出を抑制
- 海に生け簀を設けないため、海の環境への負荷を抑えられる
- 養殖施設では、水力・風力発電による再生可能エネルギーを活用


熊本県八代市のサーモン養殖水槽

03 企業版ふるさと納税

宇都宮市へ企業版ふるさと納税を実施（2026年３月）

- 子どもの遊び場・学習環境の整備、新アリーナなどを支援
- 発祥の地・宇都宮市への還元として、企業版ふるさと納税を活用
- そのほか、こども食堂（宇都宮市内６施設）へカップやトレー等を納品



こども食堂に届けた寄贈カップ

関連するSDGs | 4 質の高い教育 | 7 エネルギー | 11 まちづくり | 13 気候変動 | 14 海の豊かさ | 17 パートナーシップ

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

03

業績予想・株主還元

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

2027年3月期－連結業績予想

Genki Global Dining Concepts

（単位：百万円）

	2026年３月期	2027年３月期		
	実績	予想	前期比	増減率
売上高	73,711	※(1) 103,000	＋29,288	＋39.7%
営業利益	4,797	6,000	＋1,203	＋25.1%
営業利益率	6.5%	※(2) 5.8%	△0.7pt	－
EBITDA	6,776	8,673	＋1,897	＋27.9%
経常利益	5,242	5,900	＋658	＋12.5%
当期純利益	3,492	※(3) 3,300	△192	△5.5%
EPS（円）	197.77	186.87	△10.90	△5.5%
ROE	19.1%	16.5%	△2.6pt	－

※(1)　株式会社ゴダック及び株式会社神戸まるかんが2026年3月期第4四半期より算入、またFood Odyssey Pty. Ltd.が2027年3月期第2四半期より算入
※(2)　原価率の高い株式会社ゴダックの連結開始による収益影響を見込む
　　Food Odyssey Pty. Ltdに係る、のれん償却費の計上を予想
※(3)　のれん償却費が税務上、損金算入されないことにより、税負担率が増加する見込み

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

配当及び株主優待について

Genki Global Dining Concepts

2027年3月期の年間配当予想は70円（前期実績から据え置き）

配当金（1株当たり）

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
中間配当	30円	35円	35円
期末配当	40円	35円	35円
年間配当額	70円	70円	70円

※2025年・2026年3月期は実績、2027年3月期は会社予想。

配当基準日　中間：9月30日 ／ 期末：3月31日

株主優待制度

魚べい　元気寿司　千両　大阪焼肉 うま勝

保有株式数	継続保有1年未満	継続保有1年以上
2,000株以上	500円×40枚（年間40,000円相当）	500円×50枚（年間50,000円相当）
1,000株以上 2,000株未満	500円×20枚（年間20,000円相当）	500円×25枚（年間25,000円相当）
200株以上 1,000株未満	500円×4枚（年間4,000円相当）	500円×5枚（年間5,000円相当）
100株以上 200株未満	500円×2枚（年間2,000円相当）	500円×2枚（年間2,000円相当）

※年2回（6月・12月）発行。表の枚数は1回当たり。

※1年以上：同一株主番号で基準日を含め連続3回以上の名簿記載・記録。

基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、株主資本の充実を図るとともに、安定的な配当及び株主優待券の発行を継続して行うことを基本方針としております。

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

04

参考資料

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

会社概要

商号	株式会社Genki Global Dining Concepts
代表者	代表取締役 社長執行役員　藤尾　益造
創業・設立	創業：1968年12月　設立：1979年7月
事業内容	国内・海外におけるレストランチェーンの運営
東京本社	東京都台東区上野3丁目24番6号　上野フロンティアタワー19 階
宇都宮本社	栃木県宇都宮市大通り1丁目4番22号　MSC第2ビル2階
従業員数（連結）	691名（2026年3月末）
上場取引所	東京証券取引所　スタンダード市場（証券コード：9828）

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

沿革

Genki Global Dining Concepts

1968	12月 創業	１号店を栃木県宇都宮市に出店
1979	7月 設立	元禄商事株式会社設立ー「元禄寿司チェーン」のフランチャイズとして事業を展開
1990	3月	元気寿司株式会社に商号変更（フランチャイズから独立）
1991	8月	株式を店頭登録（日本の回転寿司業界初）
1993	9月	海外ハワイ初出店（日本の回転寿司業界初）
1994	7月	シンガポールFC1号店オープン（海外フランチャイズ1号店）
1995	3月	香港FC1号店オープン
	10月	マレーシアFC1号店オープン
1997	11月	東証二部上場（日本の回転寿司業界初）
2002	9月	東証一部に指定替え（日本の回転寿司業界初）
2009	5月	インドネシアFC1号店オープン
2010	6月	中国FC1号店オープン
2012	5月	株式会社神明と資本・業務提携《2015年6月TOBにより同社子会社に》
	7月	回転しない寿司1号店オープン
2015	9月	フィリピンFC1号店オープン
2016	12月	カンボジアFC1号店オープン
2018	7月	ミャンマーFC1号店オープン
2024	8月	商号を「株式会社Genki Global Dining Concepts」に変更
	8月	東京本社新設
2025	7月	ベトナムFC１号店オープン
	10月	株式会社ゴダック及び株式会社神戸まるかんの全株式の取得
	11月	宇都宮本社開設
2026	１月	大阪焼肉うま勝１号店オープン
	４月	豪州法人Food Odyssey Pty. Ltd.子会社化

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

企業理念

Genki Global Dining Concepts

企業理念

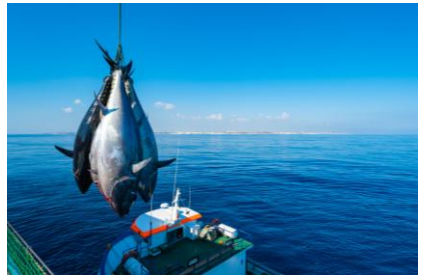
私たちは、まごころ込めた一皿で、

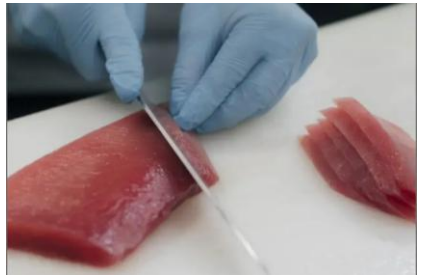
豊かで楽しい時間（ひととき）を提供し、

世界中を“元気”にします









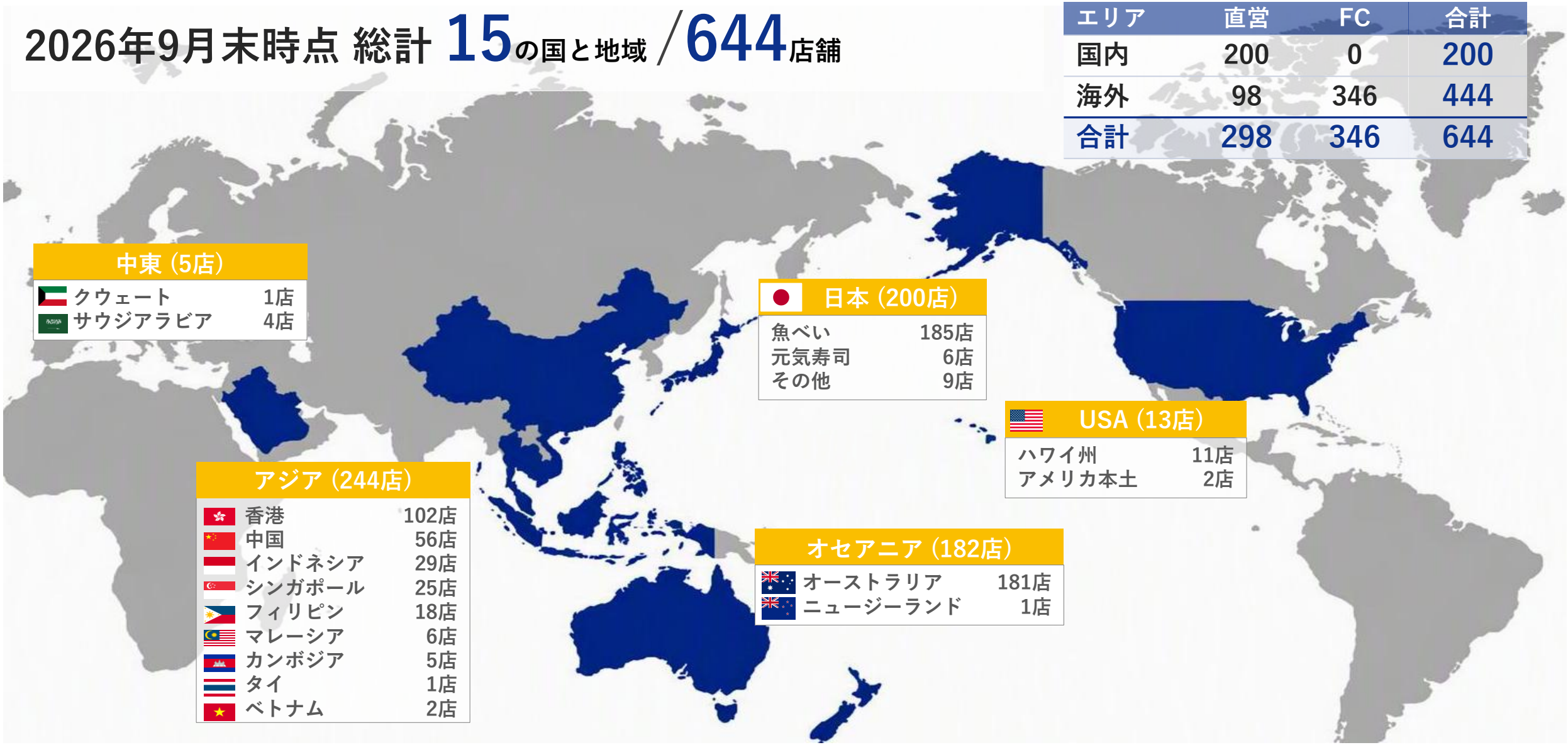
Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

店舗数・出店エリアマップ

Genki Global Dining Concepts

2026年9月末時点 総計 15の国と地域 /644店舗

エリア	直営	FC	合計
国内	200	0	200
海外	98	346	444
合計	298	346	644



中東（5店）

クウェート	1店
サウジアラビア	4店

日本（200店）

魚べい	185店
元気寿司	6店
その他	9店

USA（13店）

ハワイ州	11店
アメリカ本土	2店

アジア（244店）

香港	102店
中国	56店
インドネシア	29店
シンガポール	25店
フィリピン	18店
マレーシア	6店
カンボジア	5店
タイ	1店
ベトナム	2店

オセアニア（182店）

オーストラリア	181店
ニュージーランド	1店

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

店舗ネットワーク

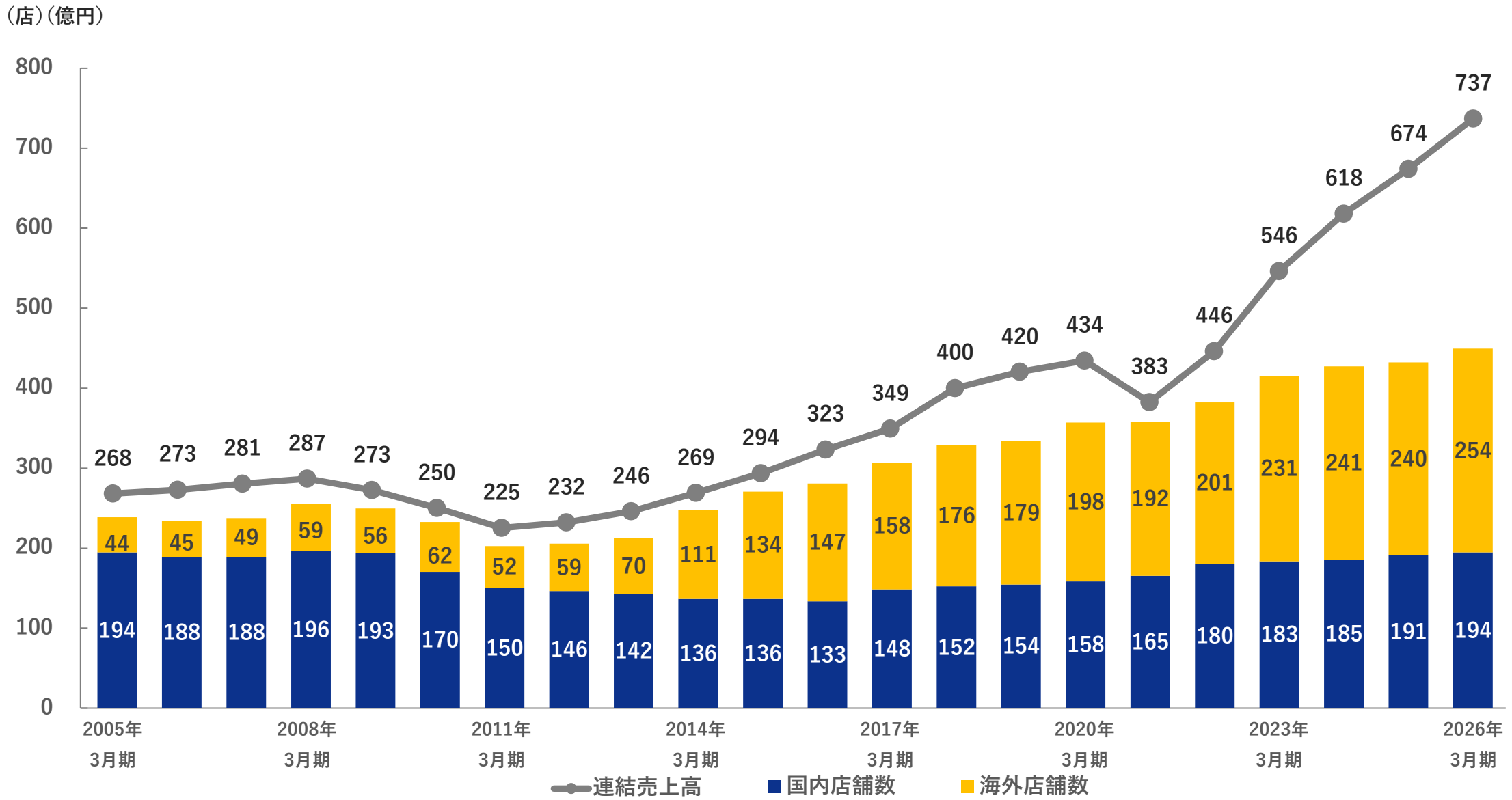
Genki Global Dining Concepts

区分	運営形態	国・地域等	2026年3月末	2026年9月末	増減
国内	直営	（魚べい・元気寿司・大阪焼肉うま勝等）	194	200	＋6
海外	直営	米国	11	12	＋1
		オーストラリア	—	86	＋86
	直営 小計		11	98	＋87
	フランチャイズ（FC）	香港	101	102	＋1
		中国	55	56	＋1
		シンガポール	24	25	＋1
		インドネシア	29	29	—
		フィリピン	18	18	—
		マレーシア	6	6	—
		カンボジア	5	5	—
		ベトナム	2	2	—
		タイ	1	1	—
		クウェート	1	1	—
		オーストラリア	—	95	＋95
		ニュージーランド	—	1	＋1
		サウジアラビア	—	4	＋4
		米国	1	1	—
	FC 小計		243	346	＋103
	海外 計		254	444	＋190
総計		国内＋海外 合計	448	644	＋196

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

連結売上高・国内及び海外店舗数推移（2026年3月末時点）

Genki Global Dining Concepts

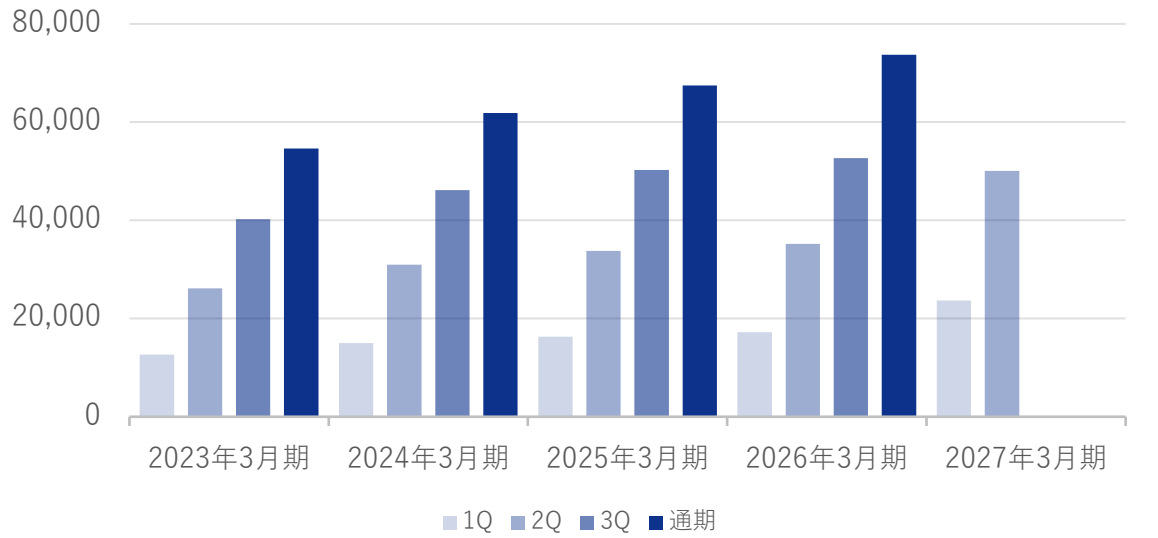


Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

四半期累計－売上高・営業利益推移

売上高

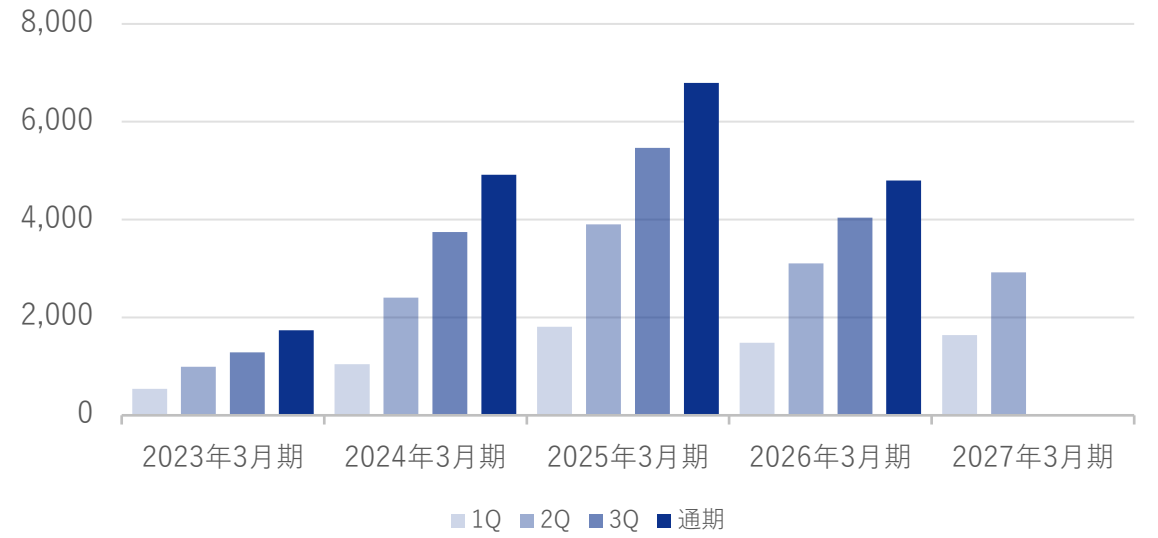
単位：百万円



売上高	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
1Q	12,644	15,019	16,318	17,242	23,699
2Q	26,132	30,949	33,796	35,205	50,059
3Q	40,227	46,130	50,277	52,638	
通期	54,614	61,838	67,472	73,711	

営業利益

単位：百万円



営業利益	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
1Q	538	1,048	1,813	1,483	1,639
2Q	990	2,406	3,906	3,108	2,921
3Q	1,287	3,749	5,463	4,040	
通期	1,736	4,917	6,792	4,797	

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.

- 本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれています。将来の計画や予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が策定・予測したものです。
- 実際の業績等は、今後のさまざまな要因により、記載内容と異なる可能性があります。本資料は、記載された内容の実現を確約または保証するものではありません。
- 本資料の情報に基づいて生じたいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Genki Global Dining Concepts

《お問合せ先》　株式会社Genki Global Dining Concepts　経営企画部
ir@genki-gdc.co.jp

Copyright © Genki Global Dining Concepts Corporation All rights reserved.